

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	三島市社会福祉会館	所管課	福祉総務課
指定管理者名	社会福祉法人三島市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～
利用料金制	なし		令和6年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	三島市南本町20番30号
指定管理業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●会館の事業に関すること 「地域福祉についての情報の収集および提供」 「地域福祉に関する相談」 「社会福祉団体の地域福祉のための活動の推進及び援助」 「社会福祉事業の振興と市民の福祉活動の育成発展」 ●会館の運営に関すること ●施設及び設備の維持管理に関する業務

2 職員の状況（令和6年4月現在）※主に指定管理業務に従事する職員数

正規職員（兼務）：3人 臨時職員：4人 管理人：1人 合計：8人

3 収支の状況（令和6年度決算額）

収入		支出	
指定管理料	14,446,000円	人件費	7,823,751円
受取利息配当金収入	0円	事業費	5,129,096円
その他	515,567円	事務費	285,688円
収入合計	14,961,567円	支出合計	13,238,535円

4 利用の状況

	令和6年度（実績）	令和5年度（実績）	令和4年度（実績）
① 年間利用者数（人）	20,510人	19,459人	18,955人
② 年間利用回数（回）	1,403回	1,487回	1,579回

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	内 容
地域福祉についての情報収集・提供	通年	はつらつ発行、ホームページ開設、福祉学習資料等の提供、福祉情報誌等の設置等
地域福祉に関する相談	通年	福祉総合相談事業、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付、生活一時扶助金、食糧支援等
地域福祉のための活動の推進及び援助	通年	福祉団体・ボランティア等の活動拠点の提供
社会福祉事業の振興と市民の福祉活動の育成発展	通年	ボランティア活動の育成、各種福祉講座の開催、福祉機器・福祉教育資材（車椅子・福祉車両・高齢者疑似体験セット）の貸出

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

■実施期間

令和6年10月21日（月）から11月1日（金）まで

■実施方法

三島市社会福祉会館を利用する団体等に、利用が始まる前にアンケートを配布し、会議終了後に回収した。

回答者数 計95人

■アンケート結果の分析（調査結果分析）

- 会館利用者の8割が女性であり、年齢層も8割が60代以上である。
- 会館の利用頻度については、月4回との回答が多く、定期的に開かれる団体の会議等で利用している人が多いと推測される。
- 会議室の利用は、大会議室が8割ほどを占めている。
- 職員の対応については、およそ8割で、よい、ふつうと回答をいただいている。
- 会館内の清掃状態に関しては、9割程度の人が、よい、ふつうと回答しているため、会館内を快適にご利用いただけているのではないかと推測される。
- 福祉会館までの交通手段としては、5割以上の人人が車を利用して来館しているが、駐車場がないことに5割以上の人人が不便だと感じている。
- 社会福祉会館の予約システムでの申請については、5割の人が申請をしたことがないと回答していることから、申請者が団体の一部の人に限定されていることが伺える。

7 管理運営状況の評価（A：優良、B：良好、C：要努力、D：要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	老朽化した施設であり、最新設備で利用者の満足度を高めることは不可能であるため、指定管理者の工夫で、利用しやすい福祉社会館となっているかどうか。	<評価できる事項> 予約システムに対応できない方は、窓口でも対応し、受付している。 <改善すべき課題> 駐車場に関する苦情が多いが、指定管理者のみで解決することはできない課題である。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価	評価項目	評価
平等利用の確保	A	利用者対応	A
サービスの提供内容	A	地域貢献	A
管理費用の執行状況	A	環境問題への取組	A
管理運営体制	A	防災対策及び緊急時の対応	A
法令遵守等	A	個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	アンケート調査を実施。ただし駐車場に関する苦情には対応ができない。
評価委員会の年度評価		

注) 「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。